

同志社女子大学今出川講座

デジタル技術で描く未来の暮らし



日時

2025

2/15 (土)

14:00開会 (13:30開場)

場所

同志社女子大学
今出川キャンパス
楽真館R401教室

京都市上京区寺町西入玄武町

- 京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅③出口より東へ徒歩約5分
- 京阪本線「出町柳」駅③出口より西へ徒歩約10分
駐車場はございませんので、公共交通機関にてご来場ください。

無料 要事前申込み 定員250名

申込みはこちら



※定員に達しだい、申込み受付を終了いたします。

ご参加にあたり、特別な配慮をご希望の方は、下記【お問い合わせ】までご連絡ください。

第一部 講演1 14:05~15:05



和気早苗
同志社女子大学
学芸学部メディア創造学科 教授

使いやすさのデザイン

私たちの周りにあるモノの多くは何かをするための道具です。私たちは日々様々なモノを使いながら生活をしますが、これらは充分わかりやすく使いやすいように作られているのでしょうか？近年、いろいろなモノがコンピュータ化、デジタル化され、使いにくくなったと思われる方も多くいかもしれません。モノの使いやすさはどのようにデザインされるべきなのか、今後ますますコンピュータ化、AI化するだろう道具と私たち人間の関係はどうなっていくのかについて考えます。

第二部 講演2 15:20~16:20

しあわせになるコンピュータ

清川 清
奈良先端科学技術大学院大学
情報科学領域 教授



本講演では、ウェアラブルデバイス、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、AI(人工知能)を活用した「しあわせ」を支える最先端技術を紹介いたします。これらの技術は、健康管理やストレス軽減、日常生活の利便性向上、さらには豊かなコミュニケーション支援を可能にし、人々がより健康で充実した生活を送れる未来を切り拓いています。本講演では、最新事例を交えながら、技術と人間の調和がもたらす可能性について探ります。